

令和4年度第1回 秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員会 議事録

日 時：令和4年6月30日（木） 午後3時～4時30分

場 所：秋田市文化会館4階第6会議室

委員の定数：13人

出席委員：12人

議 事：

1 開会

2 新委員の紹介

3 議事

(1) 第2次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画について

資料1、資料1-1および資料1-2をもとに事務局から説明を行った。

委 員 資料1-1、1ページの「特殊詐欺被害件数」のデータは、秋田県全体のデータか。市のみのデータはないか。

事 務 局 市のみのデータは持っていない。

委 員 承知した。この資料を見ると1週間に1件ほどのペースで特殊詐欺被害が発生しているように見える。

委 員 長 他にあるか。

委 員 資料1-2介護予防ケアマネジメント事業だけが評価がCとなっているが、資料の書き方として、「介護予防・生活支援事業サービス事業と一体的に評価」と記載するのではなく、C評価の理由があるのであれば、それが分かるように資料作成した方が良いと思うので一考いただきたい。

事 務 局 第3次行動計画については、事業毎に目標値も設定しているので、それぞれに評価と分かりやすい説明を記入する予定である。

委 員 長 他にあるか。

委 員 資料1-1の4ページ8-3の認知症サポーター養成講座開催回数、受講者数について、コロナの影響で講座数も減っていると説明あったが、これは市の事業か。

事 務 局 8-3は市の主催事業である。

委 員 1講座あたりの受講者数にばらつきがあるにせよ、今後講座数が増えれば受講者数も増えると考えているが、今後講座数は増えてくるか。

事務局 コロナ禍で集合形式の講座は積極的に開催できない状況であり、オンライン開催等も実施してきたが、今年度に入り集合形式の講座開催ができるようになってきているので、今後積極的に開催していきたい。

委員長 他になければ、議事(1)を終了する。

(2) 令和3年度エイジフレンドリーパートナーの取組について

資料2をもとに、事務局から説明を行った。

委員長 議事の(2)「令和2年度エイジフレンドリーパートナーの取組状況について」に関して、ご意見やご質問等はないか。

委員 認知症サポーター養成講座受講者数について、資料2では2,180人となっているが、資料1-1では、令和3年度受講者数が1,284人となっている。この数値の違いはどうか。

事務局 資料2の数値は、パートナー事業者様のなかで受講した累計数であり、資料1-1の認知症サポーター養成講座の受講者数は、令和3年度に市が主催した講座の受講者数である。

委員長 資料2の2(2)のベンチいすの設置についてですが、各事業所で設置しているものかもしれませんが、設置場所は地域ごととかバランスよくなっているものか。

事務局 コロナ禍において、人が集まらないように場所を変更した例や、撤去したり、新規設置を見送ったりしたとの報告があった。

委員長 令和3年というよりは、これまでの設置状況などを把握しているのか。

事務局 ベンチの設置に関しては、各事業者さんが敷地内等の設置可能な場所に設置していただいているものであり、地域や地区別の設置状況としては、把握できていない。

委員長 利用状況はどうか。

事務局 利用状況も同様に把握できていない状況であり、今後の課題としていきたい。

委員 65歳以上の高齢者雇用のなかで、再雇用・継続雇用が前年度比で113人の減少であり、パートナー事業さんのトータルとしては意外

	な結果と思う。何か理由があったものか、各事業者の年齢構成でこのような結果になったものか事務局はどう捉えているものか。
事務局	すべての数値の分析はできていないが、コロナの影響で継続して雇用していくことが困難だったとの報告をいただいている状況である。
委員長	2ページの表最終段のデジタル関連の講習について、今後ますます必要となってくるものであり、受講者の年代や使いこなせるようになっていくものかなど状況を把握しているものか。
事務局	受講者の年代や理解度は把握していない。
委員長	せっかく受講しても使えないようでは残念な事であり、繰り返しが必要であると思うので、感想ではあるが、優しく繰り返し聞くことができるようにしていただきたい。
委員長	他になければ、議事(2)を終了する。

(3) 第3次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画について

資料3（エイジフレンドリーシティ行動計画冊子、概要版、同推進計画）をもとに、事務局から説明を行った。

委員長	議事の(3)「第3次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画について」に関して、ご意見やご質問等はないか。
委員	先ほど委員長からも高齢者のスマホ教室の話があったが、国の講座も秋田市はすぐにいっぱいになってしまい、受講できない人がたくさんいる。基本的な事項はもちろんであるが、バスの運行状況の把握の仕方やホームページの見方など、高齢者の生活に密着した項目に絞った講座などをしてみてはいかがか。
事務局	生活に密着したところから学ぶことが必要と私どもも捉えており、デジタル化推進本部でも講座を実施しているが、エイジフレンドリーシティの日のプロモーションとして、スマホに触れてみるコーナーを設けていきたいと考えている。さらに出張講座も検討しているところであり、実生活に必要なところから学んでいけるようにしていきたいと考えている。
委員長	委員のご意見、アイデアはすごくよいもので、自分の興味のあるところから受講できるよう検討をお願いします。

委員 長 | 他になければ、議事(3)を終了する。

(4) 令和4年度エイジフレンドリーパートナー表彰について

資料4をもとに、事務局から説明を行った。

委員 長 | 議事の(4)「令和4年度エイジフレンドリーパートナー表彰について」ご意見やご質問等はないか。

(質問なし)

委員 長 | 委員の皆様、今年度の表彰についてご確認いただいたので、選考委員の選任を行いたいと思うが、ご意見はないか。

委員 | 事務局に案はないですか。

委員 長 | それでは、事務局の方で案がありましたらお願いします。

事務局 | 選考委員は、昨年度同様に、表彰対象とならない委員5名にお願いしたいとかがえている。昨年に引き続き、5名を選考委員とする案を提示いたします。

委員 長 | 事務局から、選考委員(案)がございましたが、委員の皆様、いかがか。

よろしければ、委員の皆様の拍手をもってご賛同をお願いしたい。

拍手をもってご賛同いただいたので、選任されました5名の皆様、よろしく願する。

併せて、選考委員の代表には、本推進委員会の副委員長にお願いすることとしたい。

(5) 令和4年度の主な普及啓発について

資料5をもとに、事務局から説明を行った。

委員 長 | 議事の(5)「令和4年度の主な普及啓発について」ご意見やご質問等はないか。

委員 | エイジいきいきポイントですが、介護支援ボランティアのポイントで、応募できるような仕組みにできないものか。

事務局 | 今年度は、介護支援ボランティアは含めておりませんが、今後の検討が必要と考えている。

委員	是非、検討いただきたい。
委員	<p>先日、仙北市の地域活動や婦人団体の方40人と集まり話す機会があり、エイジフレンドリーシティについて話したいと思い、鎌倉市でシニアがいきいきと暮らすための商品を企業と連携して開発するリビングラボに取り組んでいることを説明した。秋田市が日本で初めてエイジフレンドリーシティに取り組んだ都市と説明する前に「鎌倉市は素晴らしい。さすが、首都圏に近いだけある。」との声があり、秋田市が世界の11都市に選ばれたという説明もしづらい状況であった。改めて聞いても、秋田市の取組については、他の市の皆さんはご存知ない状況で、非常にショックだった。</p> <p>このたび、エイジフレンドリーシティの日を設けたということで、やっぱり、注目されるものでなければいけないと思う。日本で初めてエイジフレンドリーシティに取り組んだ都市であり、エイジングであり、必ずしもお年寄りだけではなく、全世代が共通に幸せに生きるという概念を秋田市のみなさんに伝える画期的なものであり、次のステップに繋がる重要なものである。</p> <p>そして、デジタルシニアが重要なキーワードだと思う。その40人の方々に次にやりたいことは何か伺うと、スマホと言う。ラインで孫と繋がりたい、ズームや顔を見ながらお互い話せるようになりたい、と具体的だった。1回や2回の講座ではなく、一連の使い方を映像化して、CDを全戸へ配るとかしてはどうかかなと思ったりしている。</p> <p>このたびのエイジフレンドリーシティの日に期待している。</p>
委員長	私も横浜のある方に「秋田市がエイジフレンドリーシティに初めて取り組んだ都市なんですよ。」と話すと、「エイジフレンドリーシティは知っているよ。こっちでやっているよ。」と返され、最初に取り組んだというのが響いていないという経験をした。担当職員が頑張られているのも承知しているが、エイジフレンドリーシティの日に何か目玉になるものがあれば、あるものをうまくアピールできればと期待している。
委員長	他になければ、議事(5)を終了する。
(5) その他	
委員長	委員皆様から何かないか。
委員長	ないようなので、事務局から何かないか。
事務局	事務局から以下の事務連絡を行った。

- ・パートナー表彰の選考について
- ・次回の推進委員会（選考委員会を含む）の開催時期について

3 閉会